

気をつけて！ サーフィン中の 負傷事故

サーフィン中、ボードが顔などに当たり怪我をする事故、他のサーファーと接触し怪我をする事故が多発しています。

今年4月から現在までに、第四管区海上保安本部管内において、サーフィン中の死傷事故が5件発生しています。

ボードが顔などに当たり負傷する事故、他のサーファーと接触し負傷する事故が多く発生しており、最近では 40～50代の方の事故が目立っております。

特にボードが頭部に当たった場合、重傷を負うおそれがありますので、サーフィン中は、常に気象海象・周囲の人の状況に気を配り、自分の技量に見合った安全なサーフィンを楽しみましょう。

離岸流にも注意してね！

離岸流とは、海岸に打ち寄せた波が沖に戻ろうとする時に発生する強い流れのことです。

離岸流にながされたら？

- ・慌てず落ち着く
- ・可能であれば、周りの人に流されていることを知らせる。
- ・岸と平行に泳ぐ。
- ・沖向きの流れを感じなくなったら、岸に向かって泳ぐ。
- ・泳ぎに自信のない方は、無理に泳ごうとせず浮くことに専念する。



LINK



第四管区海上保安本部
4th Regional Coast Guard Headquarters

海の安全情報メール配信サービス →
(空メールを送信して登録して下さい)

海の安全情報メール
登録無料受付中



海の安全情報スマートフォン用サイト →
(こちらから登録して下さい)

海の安全情報
Maritime Information and Communication System

